

「研究開発DXソリューション」ご提案資料

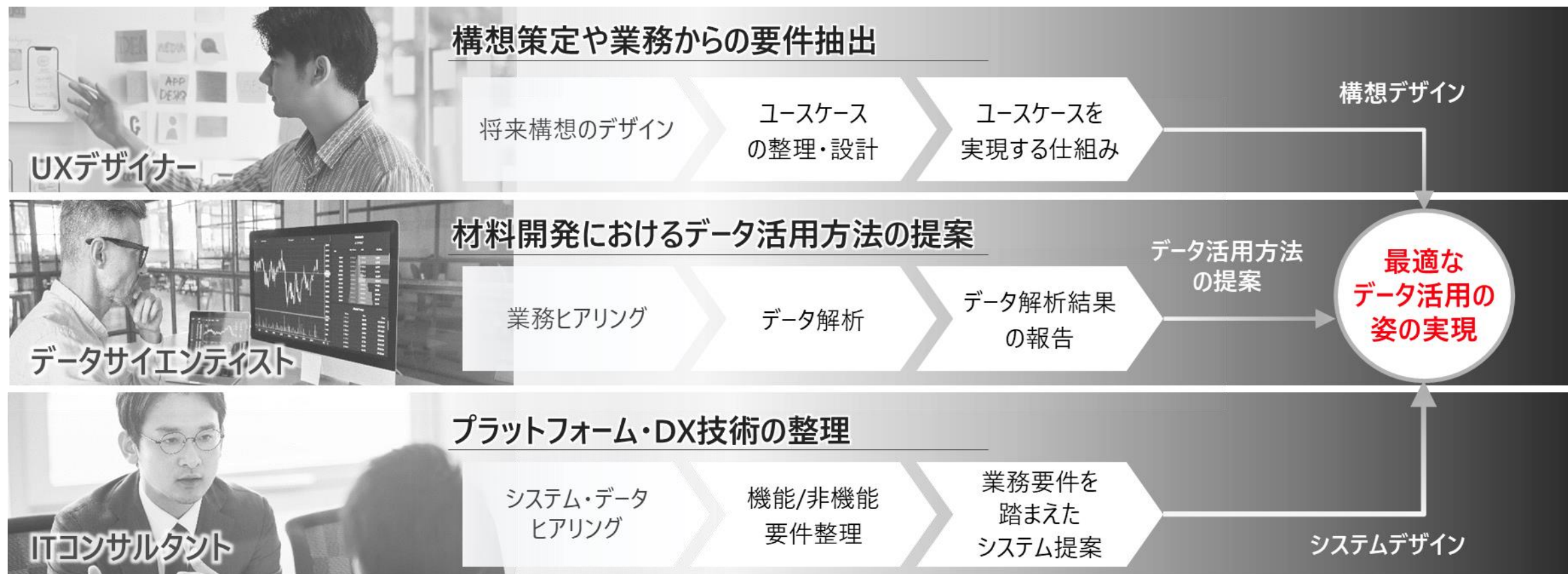
# DX支援サービス

HITACHI

# DX支援サービスの概要



UXデザイナー・データサイエンティスト・システムエンジニアにより、“めざす姿”の構想を策定し、お客さまにとって最適なデータ活用を支援します



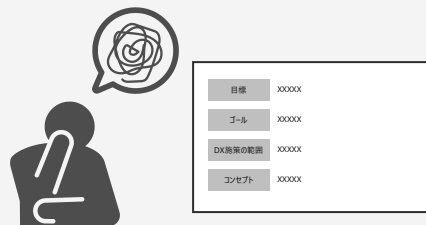
# デザインから実施した案件(A社)

–ワークショップを通じて関係者を巻き込み、全員がゴールの共通認識を持って、プロジェクトを進めることができました

## 背景

研究開発をDX化しないと将来的に他社に置いて行かれるとの危機感を持っていた

その危機感の言語化し、対策方針の明確化をしたいと考えていた



## 実施したこと

ワークショップの実施  
 研究員、管理職  
 研究所3つ  
 (基礎研、応用研、製造)  
 人事、知財

As-Is +  
 課題図の作成

To-Be像  
 の作成

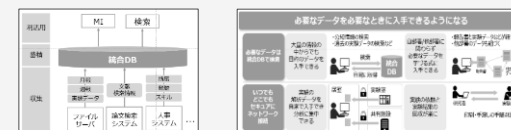
データモデル  
 の作成

## 成果

DX化プロジェクトの目指すべきゴールが明確になり、具体的なロードマップを引けたことで、プロジェクト参画メンバーの共通認識を持った状態で、迷うことなく走りだすことができた



### ロードマップ



## システムから実施した案件(B社)

- 容易な実機検証と迅速な改修でお客様が想定したDX施策の検証ができました

### 背景

DX化施策の一環で、お客様が作成したMIモジュールを実行する画面が欲しいと明確にやりたいことがあった

ただ、自分達のコンセプトの正しさも確認しながら進めたいとの要望もあった



### 実施したこと

アジャイル開発で  
プロトタイプ環境の構築

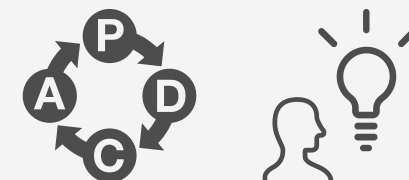
お客様による実機検証

1週間ごとに顧客要望  
を取り入れた開発

ワークショップによる  
コンセプトの再整理

### 成果

お客様自身での実機検証と指摘の取り込みの繰り返しがすぐにできたことで、検討内容の正しさと課題の洗い出しをすることができた  
実機での検証結果と合わせコンセプトの見直しもできた



# DXセミナー



セミナー



DX支援

お客様の課題に応じてセミナーをオーダーメイド

ニーズに応じてセミナーをデザイン、課題解決への道をサポートします

## 日立の強み お客様特有の課題にアプローチ

データサイエンス、デザイン、システムエンジニアなど、さまざまなバックグラウンドを持つ専門家が在籍  
お客様の扱う製品業界における特有の課題を的確に把握し、状況に合わせたセミナーをご提案します

### – お客様の声

- ✓ 業界出身の講師が業界特有の課題を理解し、業界に適した視点から研究開発の議論ができたことは非常に有益だった。
- ✓ システム化する時にUI・UXが大事だと気付くことができた。
- ✓ 今まで、目的などはっきりしていなかったが、目的が明確になった。
- ✓ 各現場ごとの温度感に合わせたDXの広め方が必要と感じた。
- ✓ 結果だけでなく、プロセスの細かい部分が大事だと感じた。
- ✓ 情報やタスクの関係性を理解するの大変だったが、ポストイットを活用することで、課題を可視化できてよかった。



### セミナー例

研究開発DXセミナー

社内DXセミナー

MIセミナー

デザインセミナー